

中学歴史 平安時代（解答）

要点チェック（レベル1）

摂関政治

奈良時代の終わり、律令政治が乱れてきた。そこで(1 桓武天皇)は794年に都を(2 平安京)に移し、東北地方の(3 蝦夷)を朝廷の支配に入れるため、坂上田村麻呂を征夷大將軍に任命した。

平安時代の中ごろ、貴族の藤原氏は天皇が幼いときは(4 摂政)、天皇が成人してから(5 関白)に就いて政治の実権を握った。この政治を(6 摂関政治)といい、(7 藤原道長)とその子の(8 藤原頼通)のころ最も安定した。

藤原氏が権力を握った方法

1、ほかの貴族を退ける

例：894年に(9 菅原道真)は遣唐使の廃止を決めて、日本独自の文化が開いたが、藤原氏によって都から大宰府に追放されて死んだ。

2、自分の娘を天皇のきさきにする

7は自分の娘4人を天皇と結婚させた

3、娘が生んだ子（次の天皇）を助けるため4や5になる

国風文化

藤原氏の6が行われたころ、貴族が唐風をもとに、日本の風土や生活感情にあった(10 国風文化)を作った。漢字を変形させてつくられた(11 仮名文字)ができ、自分の考えや感情を豊かに表現できるようになった。貴族の邸宅には、建物どうしを廊下でむすんだ(12 寝殿造)という様式が生まれた。

文学作品

13 古今和歌集	遣唐使の廃止後、905年天皇の命令で作られた最初の和歌集。 (14 紀貫之)らが約1100首を選び、編集した。
15 枕草子	(16 清少納言)は天皇のきさき(藤原氏の娘)に家庭教師として仕えた女性。作者の感性で日常生活の気づきをまとめた随筆。
17 源氏物語	(18 紫式部)も天皇のきさき(藤原道長の娘)に家庭教師として仕えた女性。貴公子光源氏を主人公にした長編小説。

まくらのそうし、すがわらのみちざね、しんでんづくり、ふじわらのよりみち、かんむてんのう、へいあんきょう、か、な、も、じ、きのつらゆき、ふじわらのみちなが、

こくふうぶんか、えみし、かんぱく、こきんわかしゅう、せいしやうなごん、せつしやう、むらさきまぶ、せつかんせいじ、げんじものがたり、

こたえは「漢字」で書いて、漢字の「よみがな」も読めるようにしてください。

平安時代の仏教

・平安時代初め、唐に留学した(1 最澄)と(2 空海)が仏教の新しい教えを日本に伝えた。

1 は(3 天台宗)を広め、平安京の北東にある比叡山に延暦寺を建てた。

2 は(4 真言宗)を広め、和歌山の高野山に金剛峯寺を建てた。

その後、平安時代中ごろには、阿弥陀如来にすがり極楽浄土へ生まれ変わることを願う(5 浄土信仰)が広まった。藤原道長の別荘のあと、藤原頼通が極楽を模した(6 平等院鳳凰堂)を建てた。

じょうどしんこう しんごんしゅう てんだいしゅう びょうどういんほうおうどう くうかい さいちょう
浄土信仰、真言宗、天台宗、平等院鳳凰堂、空海、最澄、



10 円硬貨にある建物

確認問題

- 問 1 794 年桓武天皇は都をどこに移したか。
- 問 2 藤原氏は勢力をのぼすため、娘を天皇の何にしたか。
- 問 3 藤原氏は天皇が幼いときについた役職を何というか。
- 問 4 藤原氏は天皇が成人するとついた役職を何というか。
- 問 5 藤原氏が朝廷の多くの役職を独占できたのはいつごろか。
父とその子、2 人の人物名を答えなさい。
- 問 6 桓武天皇が坂上田村麻呂を征夷大将軍に任命し、
朝廷の支配を広げようとした地方はどこか。
- 問 7 藤原氏が政治の実権を握って行った政治を何というか。
- 問 8 平安時代に貴族が生み出した、日本の風土や生活感情に合った
文化を何というか。
- 問 9 平安時代から貴族が住んだ、広い庭や池をもつ建築の様式を
何というか。
- 問 10 自分の考えや感情を豊かに表現できるようになった、
漢字を変形させた文字を何というか。
- 問 11 11 世紀に広まった、阿弥陀如来にすがった死後に極楽浄土に
生まれ変わることを願う信仰を何というか。
- 問 12 11 を反映した、藤原頼通が藤原道長の別荘跡に建てた
建物を何というか。
- 問 13 紫式部が 10 を用いて著した、長編小説は何か。
- 問 14 紀貫之らが編集した和歌集は、何か。

- 1 平安京
- 2 きさき
- 3 摂政
- 4 関白
- 5 藤原道長
藤原頼通
- 6 東北地方
- 7 摂関政治
- 8 国風文化
- 9 寝殿造
- 10 仮名文字
- 11 浄土信仰
- 12 平等院鳳凰堂
- 13 源氏物語
- 14 古今和歌集

武士のおこりと院政

平安時代半ばに登場した武士は、都の武官や力をつけた地方の豪族からあらわれ、やがて武士団をつくり、なかでも(1 源氏)と(2 平氏)はともに天皇の子孫で、武士団のリーダー (棟梁) として有力になった。11 世紀後半、(3 白河天皇)は天皇の位をゆずり上皇になった後も、政治を動かす(4 院政)を始めた。上皇は 1 や 2 を都の警備にあてたので、武士が政治に関わるきっかけになった。

上皇と天皇の対立などをきっかけに保元の乱と平治の乱が起こり、勝利した(5 平清盛)は 1167 年、武士としてはじめて(6 太政大臣)となった。5 は兵庫の港を整備して中国の(7 宋)と貿易を行ったほか、2 の一族が朝廷の高い地位を独占したため 2 に不満を持つ者が増え、1 など各地の武士たちが兵を挙げ、2 は壇ノ浦 (だんのうら) で滅ぼされた。

たいらのきよもり 平清盛、だいじょうだいじん 院政、太政大臣、宋、平氏、源氏、白河天皇、

確認問題

問 1 平安時代半ばに登場した武士が、一族や郎党をまとめて作った集団を何というか。

1 武士団

問 2 1 のうち朝廷と結びつき勢力をのぼした 2 つの勢力を何というか。

2 源氏、平氏

問 3 1086 年白河天皇が位をゆずって上皇になり、その後も政治を動かした。この政治を何というか。

3 院政

問 4 上皇と天皇との対立から起きた二度の朝廷内の内乱で勝利し、武士で初めて太政大臣になったのはだれか。

4 平清盛

問 5 平氏の政治に不満をきっかけに、各地の武士が兵を挙げた結果、1185 年平氏が滅んだ戦いを何というか。

5 壇ノ浦の戦い

問 6 平清盛が兵庫の港を整備し行った貿易を何というか。

6 日宋貿易

時代によって「よみがな」が変わる漢字

1, 蝦夷

2, 太政大臣

平安時代初めまで：えみし

律令制度：だいじょうだいじん

11 世紀後半から：えぞ

明治初期：だじょうだいじん (三条実美だけ)

要点チェック (レベル2)

1, 平安京と律令政治の立て直し

奈良時代の終わり、貴族の争いや僧が政治に口出し。

794年(1 **桓武天皇**)が都を平安京に移し、律令政治の立て直しを始める

- ・国司の監視強化や民衆の負担軽減、など

しかし土地を捨てる人々が増え、班田収授法はほとんど行えなくなり、10世紀に停止。

- ・東北地方の支配(2 **坂上田村麻呂**)を征夷大将軍に任命し、(3 **蝦夷**)を平定。

新しい仏教：9世紀はじめ唐で仏教を学び、奈良の仏教を批判し、天皇や貴族に受け入れられた

- ・(4 **最澄**) :比叡山(都の北東)に延暦寺を建て(5 **天台宗**)を広める
- ・(6 **空海**) :高野山(和歌山)に金剛峯寺を建て(7 **真言宗**)を広める

2, 摂関政治のはじまり

藤原氏の繁栄：娘を天皇のきさきにし、生まれた子をのちに天皇にして勢力を拡大。

他の有力貴族を排除：(8 **菅原道真**)が九州の大宰府に追放されたこと、など

(9 **摂関政治**) :天皇が幼いとき(10 **摂政**)、成人後は(11 **関白**)として補佐して、政治の実権をにぎる。

11世紀前半、(12 **藤原道長**)と(13 **藤原頼通**)の親子のときが最盛期。

- ・国司は貴族が任命されたが、一定の税を朝廷に納めたら、自分の収入を増やすことにはげむ
- ・有力な農民は国司から権利を守るため、私有地を寺社や貴族に保護してもらう

→(14 **荘園**)が発達

3, 国風文化

東アジアの変化

894年(8 **菅原道真**)の建議で、遣唐使を廃止

907年唐が滅亡し、長い混乱の後、979年(15 **宋**)が中国を統一

936年朝鮮では新羅に代わり(16 **高麗**)が建国

平安時代はじめは唐を手本としたが、しだいに薄れる

(17 **国風文化**) :日本の風土や生活感情にあった文化

- ・(18 **寝殿造**) :貴族の邸宅の建築様式
- ・大和絵：日本風の風景や人物の絵、屏風や**絵巻物**が生まれる
「源氏物語絵巻」など

- ・(19 **仮名文字**)の広まり：日本語の音をそのまま文字に表し、感情を細かく表現できた

文学の発達

「20 **源氏物語**」：12の娘彰子に仕えた(21 **紫式部**)が書いた長編小説。

「22 **枕草子**」：天皇のきさきに仕えた(23 **清少納言**)が書いた随筆。

「24 **古今和歌集**」：紀貫之らが編集した和歌集

語句は5ページにあります。

(25 浄土信仰) : 死後、極楽浄土に生まれ変わることを願うこと

13 が建てた(26 平等院鳳凰堂)は極楽浄土を写したもの(浄土宗や浄土真宗は鎌倉時代から後)

4. 武士のおこりと院政

・各地で律令制度がくずれて、土地を守るため有力な農民や豪族が武装し、貴族や朝廷と結びつき、(27 武士団)を結成。

10 世紀関東で(28 平将門の乱)、瀬戸内で(29 藤原純友の乱)が起き、武士の力で平定

1086 年白河上皇が(30 院政)を始め、源氏と平氏の武士を警護に用いる。

→武士が政治に関わるきっかけ

11 世紀後半、東北地方の戦乱：源氏が平定して、関東に本拠地を置くきっかけ

(31 奥州藤原氏) : 戦乱の後、平泉(岩手県)を拠点に 3 代にわたり勢力をもった。

(32 中尊寺金色堂)が有名だが、源頼朝に滅ぼされる。

保元の乱と平治の乱：朝廷内の争いを武士の力で解決

(33 平清盛)が武士ではじめて太政大臣になり、娘を天皇のきさきにし、平氏が高い地位を独占

(34 日宋貿易) : 兵庫の港を整備し、中国(宋)と貿易を行う

平氏の政治に不満が高まり、(35 源頼朝)らが挙兵し、1185 年(36 壇ノ浦の戦い)で平氏が滅ぶ

くうかい さいちよう かん むてんのう こきん わかしゅう しょうえん そう せつかんせいじ かなもじ えみし
空海、最澄、桓武天皇、古今和歌集、莊園、宋、摂関政治、仮名文字、蝦夷、
こくふうぶんか むらさきしきぶ てんだいしゅう じょうどしんこう ちゅうそんじこんじきどう びやうどういんほうおうどう
国風文化、紫式部、天台宗、浄土信仰、中尊寺金色堂、平等院鳳凰堂、
しんでんづくり かんぱく さかのうえのたむらまろ たいらのきよもり げんじものがたり こうらい すがわらのみちざね
寝殿造、関白、坂上田村麻呂、平清盛、源氏物語、高麗、菅原道真、
ふじわらのよりみち せいしょうなごん おうしゅうふじわらし ぶしだん たいらのまさかど らん にっそうぼうえき
藤原頼通、清少納言、奥州藤原氏、武士団、平将門の乱、日宋貿易、
まくらのそうし しんごんしゅう せつしょう いんせい だんのうら たたか ふじわらのみちなが みなもとのよりとも
枕草子、真言宗、摂政、院政、壇ノ浦の戦い、藤原道長、源頼朝、
ふじわらのすみとも らん
藤原純友の乱

院政が始まってからも、藤原頼通の子孫から摂政・関白が任命されたが、

政治への影響力は下がり、鎌倉時代に五摂家(近衛・一条・九条・鷹司・二条)に分かれた。

摂政と関白は五摂家のうちから任命されたが、例外は豊臣秀吉だけである。

確認問題 (レベル3)

年表問題

時代	世紀	できごと	中国	
(1 平安) 時代	8	784年、桓武天皇が都を長岡京に移す	唐	
		794年、桓武天皇が都を(2 平安京)に移す		
		797年、坂上田村麻呂が(3 征夷大將軍)に任命される		
	9	802年、坂上田村麻呂が岩手県に胆沢城を築く		
		819年、(4 空海)が高野山に金剛峯寺を建てる		
		894年、菅原道真の提案で(5 遣唐使)が停止される		
	10	901年、菅原道真が大宰府に流される		五代
		907年、唐が滅亡		
		935年、関東で平将門の乱が起こる		
		936年、高麗が朝鮮半島を統一		
		939年、瀬戸内地方で藤原純友の乱が起こる		
		960年、(6 宋)が中国でおこる		
11	1016年、(7 藤原道長)が摂政につき、藤原氏が全盛期をむかえる	(6 宋)		
	1017年、(8 藤原頼通)が関白となる			
	1086年、(9 白河上皇)が院政を始める			
12	1156年、(10 保元の乱)で後白河天皇が上皇に勝利する			
	1159年、平治の乱が起こる			
	1167年、(11 平清盛)が武士として初めて太政大臣となる			
	1180年、伊豆で源頼朝が挙兵			
	1185年、(12 壇ノ浦の戦い)で平氏が滅ぶ			

問1 律令制度の立て直しをはかり、都を奈良から京都に移した天皇はだれか。

1 桓武天皇

問2 律令国家の支配が及ばない東北地方北部の人々を、朝廷は何と呼んでいたか。

2 蝦夷

問3 有力な貴族などに寄進(保護)された私有地を何というか。

3 荘園

問4 都から各国に派遣され、地方の政治を任せられた役人を何というか。

4 国司

問5 藤原氏は天皇が幼いときは摂政、成人してからは関白となって政治の実権を握った。このような政治を何というか。

5 摂関政治

問6 阿弥陀仏に救いを求めて、死後に極楽浄土に生まれ変わることを祈る信仰を何というか。

6 浄土信仰

問7 比叡山に延暦寺を建てた最澄が開いた仏教の宗派を何というか。

7 天台宗

- 問 8 中国の文化を吸収し、日本人の風土や暮らしに合わせて
独自に発達した文化を何というか。
- 問 9 紫式部が貴族の世界を描いた長編小説を何というか。
- 問 10 清少納言が宮廷生活で感じたことや四季の情趣について
書いた随筆を何というか。
- 問 11 天皇の子孫を棟梁とする武士団として有力だったのは、
平氏ともう 1 つは何氏か。
- 問 12 壇ノ浦の戦いで平氏を滅ぼした、源頼朝の弟はだれか。

8 国風文化

9 源氏物語

10 枕草子

11 源氏

12 源義経

源氏と平氏が一族どうして戦ったわけではなく、
平氏出身でも源氏側についた武士もいた。鎌倉幕府で将軍を支えた北条氏は平氏。
壇ノ浦の戦いで滅んだのは、伊勢を拠点とする平清盛の子孫の一族。